野村ブル・ベア セレクト9
（円高ドル安トレンド9）

運用報告書(全体版)

第１期（決算日2024年１月16日）

作成対象期間（2022年12月15日～2024年１月16日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（通貨）／特殊型（ブル・ベア型）
信託期間	2022年12月15日から2026年１月16日までです。
運用方針	選択権付き為替予約取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きが円から見た米国ドルの日々の値動きの概ね２倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行ないます。
主な投資対象	円建ての短期公社債等の短期有価証券を主要投資対象とします。選択権付き為替予約取引を主要取引対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以内とします。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、利子・配当等収益等を中心に基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

野村アセットマネジメント
東京都江東区豊洲二丁目２番１号
サポートダイヤル　0120－753104
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時
ホームページ　http://www.nomura-am.co.jp/

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率			
(設定日)	円	円	%	%	%	百万円
2022年12月15日	10,000	－	－	－	－	30
１期(2024年１月16日)	7,238	0	△27.6	75.8	－	3,217

＊債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。
＊当ファンドは、日々の基準価額の値動きが円から見た米ドルの日々の値動きの概ね２倍程度反対となることを目指して運用を行なうため、ベンチマーク等はありません。

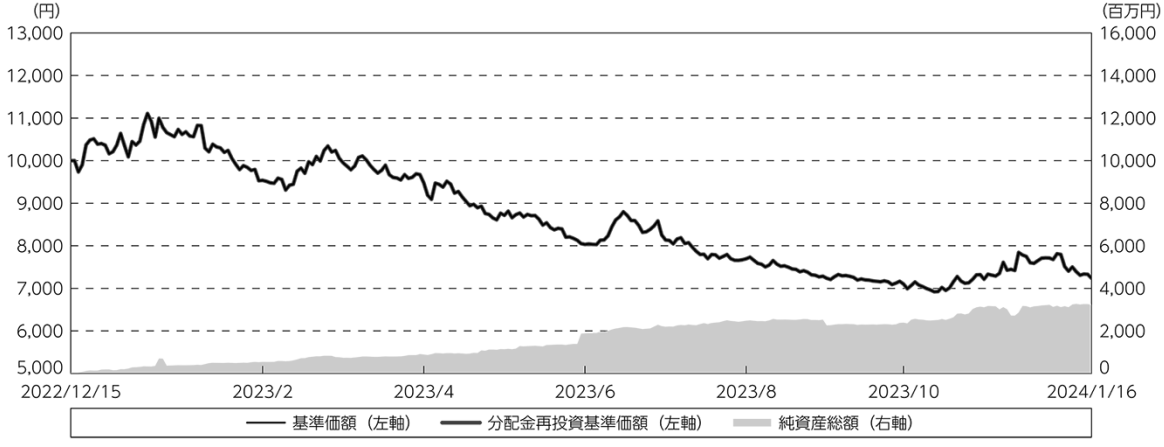
○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率		
(設定日)	円	%	%	%
2022年12月15日	10,000	－	－	－
12月末	10,367	3.7	69.7	－
2023年１月末	10,581	5.8	74.4	－
２月末	9,538	△ 4.6	71.8	－
３月末	9,869	△ 1.3	74.5	－
４月末	9,476	△ 5.2	76.3	－
５月末	8,764	△12.4	73.3	－
６月末	8,033	△19.7	74.2	－
７月末	8,254	△17.5	77.4	－
８月末	7,695	△23.1	74.2	－
９月末	7,284	△27.2	－	－
10月末	7,103	△29.0	－	－
11月末	7,321	△26.8	73.9	－
12月末	7,796	△22.0	74.4	－
(期　末)				
2024年１月16日	7,238	△27.6	75.8	－

＊騰落率は設定日比です。
＊債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



設定日：　10,000円
期　末：　7,238円（既払分配金(税込み)：0円）
騰落率：△ 27.6%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

円と米ドルの為替レートは、円安米ドル高となりました。基準価額は下落しました。

○投資環境

日米金利差などを背景に、米ドルは対円で上昇（円安）しました。2023年11月には米国のインフレ率の鈍化や各種の経済指標から景気減速の兆しが確認されたことを背景にFRB（米連邦準備制度理事会）の将来的な利下げが意識されたことなどから、米ドルは対円で下落（円高）しました。

期を通じては、米ドルは対円で上昇しました。

○当ファンドのポートフォリオ

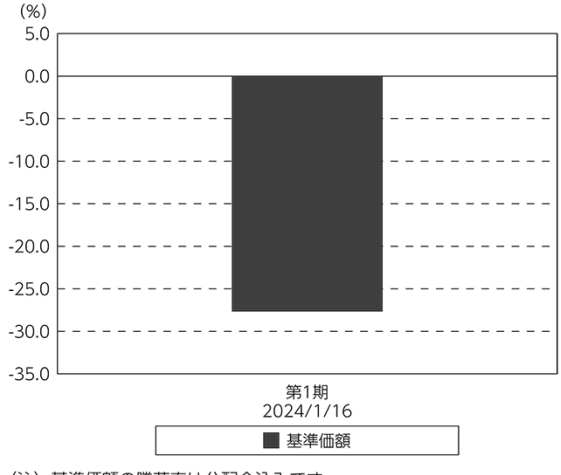
わが国の短期公社債、コール・ローン等に投資するとともに、選択権付き為替予約取引を活用し、純資産総額に対する実質的な為替予約額の比率を200%程度に維持してまいりました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、日々の基準価額の値動きが円から見た米ドルの日々の値動きの概ね２倍程度反対となることを目指して運用を行なうため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

基準価額（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

利子・配当等収益等を中心に基準価額水準等を勘案し決定しました。
留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、１口当たり・税込み）

項　　目	第１期 2022年12月15日～ 2024年１月16日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	－

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

今後も当ファンドの商品性に沿った投資成果をめざす運用を行なってまいります。
引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○１口当たりの費用明細

（2022年12月15日～2024年１月16日）

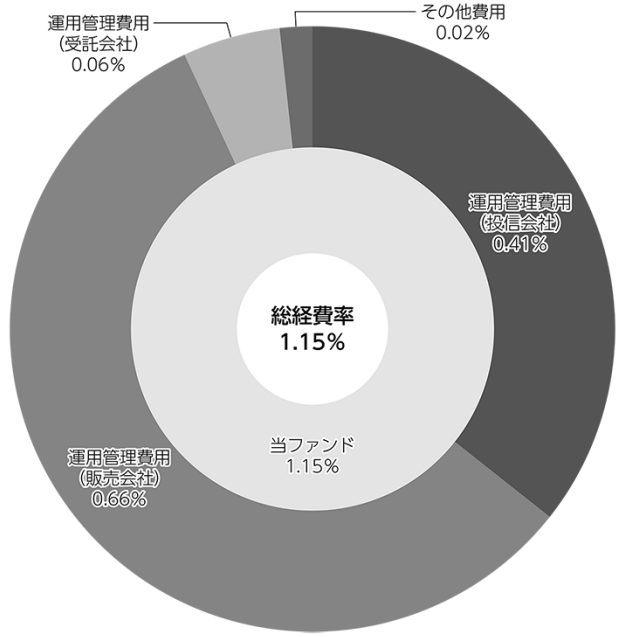
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	105	1.223	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(38)	(0.444)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（販売会社）	(62)	(0.720)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（受託会社）	(5)	(0.060)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) その他費用	2	0.024	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(2)	(0.022)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	107	1.247	
期中の平均基準価額は、8,621円です。			

＊期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
＊各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
＊各比率は１口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.15％です。



（注）当ファンドの費用は１口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2022年12月15日～2024年１月16日）

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	315,930,000	313,488,433

＊金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）
＊単位未満は切り捨て。

○派生商品の取引状況等

（2022年12月15日～2024年１月16日）

オプションの銘柄別取引・残高状況

銘柄別			コール・プット別	買建				売建				当期末評価額		
				新規買付額	決済額	権利行使	権利放棄	新規売付額	決済額	権利被行使	義務消滅	買建額	売建額	評価損益
				百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
国内	通貨オプション取引	ドル	コール	－	－	－	－	12,013	12,139	－	－	－	101	－
			プット	12,013	11,643	－	－	－	－	－	－	101	－	－

＊単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2022年12月15日～2024年１月16日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

（2022年12月15日～2024年１月16日）

設定時残高（元本）	当期設定元本	当期解約元本	期末残高（元本）	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
30	－	－	30	当初設定時における取得

○組入資産の明細

（2024年１月16日現在）

国内公社債

（A）国内（邦貨建）公社債　種類別開示

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちＢＢ格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					５年以上	２年以上	２年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	2,440,000	2,440,000	75.8	－	75.8	－	－
	(2,440,000)	(2,440,000)	(75.8)	(－)	(75.8)	(－)	(－)
合計	2,440,000	2,440,000	75.8	－	75.8	－	－
	(2,440,000)	(2,440,000)	(75.8)	(－)	(75.8)	(－)	(－)

＊（　）内は非上場債で内書きです。
＊組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
＊金額の単位未満は切り捨て。
＊評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
＊残存期間が１年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

（B）国内（邦貨建）公社債　銘柄別開示

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	%	千円	千円	
国債バスケット（変動利付・利付・国庫短期証券）※	－	2,440,000	2,440,000	－
合計		2,440,000	2,440,000	

＊額面・評価額の単位未満は切り捨て。
＊※印は現先で保有している債券です。

オプションの銘柄別期末残高

銘柄別			コール・プット別	当期末	
				買建額	売建額
国内	通貨オプション取引	ドル		百万円	百万円
			コール	－	101
			プット	101	－

＊単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

（2024年１月16日現在）

項　　目	当　期　末	
	評　価　額	比　率
	千円	%
公社債	2,440,000	64.5
コール・ローン等、その他	1,343,079	35.5
投資信託財産総額	3,783,079	100.0

＊金額の単位未満は切り捨て。

○特定資産の価格等の調査

調査依頼を行なった取引は2022年12月15日から2023年12月14日までの間でオプション取引（為替店頭オプション取引）986件でした。これらのオプション取引（為替店頭オプション取引）について、投資信託及び投資法人に関する法律（昭和26年法律第198号）第11条第２項に基づいて比較可能な価格のほか、取引の相手方の名称、通貨の種類、プット又はコールの別、数量、オプション料計上額その他の当該オプション取引（為替店頭オプション取引）の内容に関して、EY新日本有限責任監査法人に調査を委託し、日本公認会計士協会が公表した専門業務実務指針4460「投資信託及び投資法人における特定資産の価格等の調査に係る合意された手続業務に関する実務指針」に基づく調査結果として合意された手続実施結果報告書を入手しています。

なお、本調査は財務諸表監査の一部ではなく、また、価格の妥当性や内部管理体制について保証を提供するものではありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 （2024年１月16日現在）

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,783,079,166
コール・ローン等	779,043,567
公社債(評価額)	2,440,000,000
プット・オプション(買)	101,653,106
未収入金	393,791,493
差入委託証拠金	68,591,000
(B) 負債	565,801,016
コール・オプション(売)	101,653,106
未払金	436,761,698
未払解約金	10,997,454
未払信託報酬	16,356,359
未払利息	401
その他未払費用	31,998
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	3,217,278,150
元本	4,445,040,000
次期繰越損益金	△1,227,761,850
(D) 受益権総口数	444,504口
１口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	7,238円

（注）期首元本額は30,000,000円、期中追加設定元本額は8,159,930,000円、期中一部解約元本額は3,744,890,000円、１口当たり純資産額は7,238円です。

○損益の状況 （2022年12月15日～2024年１月16日）

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	△ 781,848
受取利息	△ 914,914
その他収益金	231,442
支払利息	△ 98,376
(B) 先物取引等取引損益	△ 286,627,705
取引益	1,772,203,919
取引損	△2,058,831,624
(C) 信託報酬等	△ 20,451,675
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	△ 307,861,228
(E) 追加信託差損益金	△ 919,900,622
(配当等相当額)	(△ 1,957,077)
(売買損益相当額)	(△ 917,943,545)
(F) 計(Ｄ＋Ｅ)	△1,227,761,850
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(Ｆ＋Ｇ)	△1,227,761,850
追加信託差損益金	△ 919,900,622
(配当等相当額)	(△ 1,957,077)
(売買損益相当額)	(△ 917,943,545)
繰越損益金	△ 307,861,228

＊損益の状況の中で(B)**先物取引等取引損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
＊損益の状況の中で(C)**信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
＊損益の状況の中で(E)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）分配金の計算過程（2022年12月15日～2024年１月16日）は以下の通りです。

項　　目	当　　期 2022年12月15日～ 2024年１月16日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	0円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	0円
f. 分配対象収益(１口当たり)	0円
g. 分配金	0円
h. 分配金(１口当たり)	0円

○分配金のお知らせ

１口当たり分配金（税込み）	0円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。
※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。